

社会全体での子育て支援



創
甲斐TALK

創・甲斐
プラン21
を考える



Profile

宮沢 由佳(みやざわ ゆか)
1962年生まれ。子育てに悩むお母さんたちを支援するNPO法人子育て支援センターちびっこはうすの代表。男女共同参画審議会をはじめ次世代育成のための懇話会委員など多数の審議会等の委員を務めている。

▶杉原初男
(山梨県福祉保健部長)



少子化に歯止めをかけ、次代を担う子どもたちの健全な育成を図るためにはどうしたらよいかについて語ってもらった。

杉原 先日発表された2003年の合計特殊出生率は、全国で1.29、本県でも1.37にまで低下してしまいました。今後の山梨が持続可能な社会として発展していくためには、少子化に歯止めをかけなければなりません。

宮沢 私は「新人類」と呼ばれた世代の人間ですが、私よりも若いお母さんたちの世代は子どもに連れ合う機会があまりない中で育ってきています。そんなお母さんが子どもを産んで育てるわけですから、大変なストレスがかかってしまいます。

杉原 はじめての出産、育児で大き

なストレスを感じてしまうと、二人目、三人目と産もうとは思わないですよ。

宮沢 そう思います。また、地域の人間関係が希薄になっているというのも少子化の原因ではないかと思っています。以前は、地域の中で、先輩のお母さんがたくさんいて、育児について教えてくれたりしました。

杉原 長期総合計画では、子育てに不安をもつお母さんの相談に応じる「地域子育て支援センター」を、17カ所から10年後には60ヶ所に増やしていくこととしています。

宮沢 お母さんたちが集ったり、相

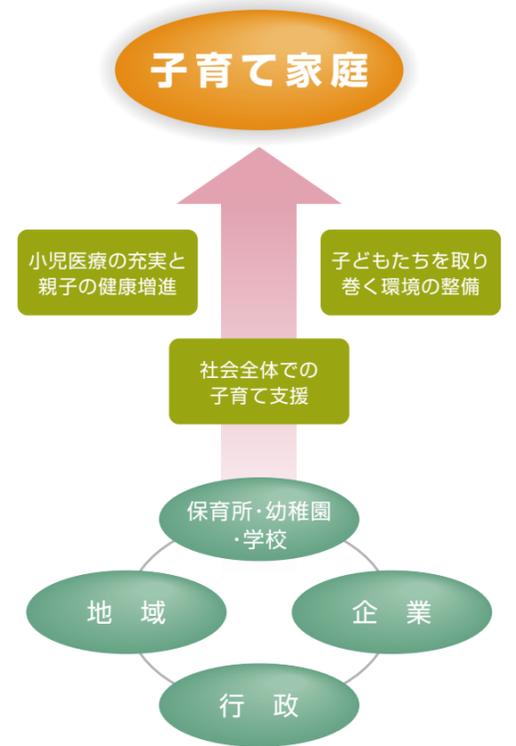
談をすることのできる施設が増えることは大変素晴らしいことだと思えます。しかし根本的な解決には、父親の育児へのかかわり方などを含めて社会全体の意識を変えていく必要があると思います。

杉原 少子化対策は社会全体で取り組んでいく必要があります。県では現在、行政だけでなく企業や地域が一体となった取り組みを積極的に推進するため、行動計画の策定に取り組んでいます。

宮沢 お母さん方も頼りきりではないかと思えます。私も子育てがサードワークで頑張っているお母さん方のネットワーキングづくりを支援していきたいと思っています。



未来の山梨を担う子どもたちの健全な育成



8 子育て支援プロジェクト

急速な少子化の進行は、若年労働者の減少、経済成長率の低下、社会保障分野における現役世代の負担増など、我が国の社会経済全体に大きな影響を与えています。こうした少子化の流れに歯止めをかけるとともに、子どもたちの心身両面にわたる健やかな成長を促進するため、行政をはじめ、地域や企業、保育所、幼稚園、学校が一体となったさまざまな取り組みを積極的に推進します。

【主な事業】
地域子育て支援センター等の設置促進
低年齢児・延長保育の充実
乳幼児医療費の助成
小児救急医療体制の整備
30人学級等の推進

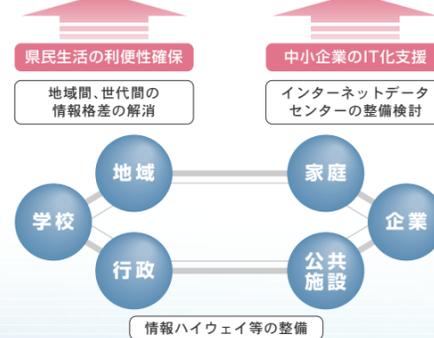
9 自然環境保全・復元プロジェクト

地球規模での自然環境の悪化が進み、人間も含めた生態系全体への影響が懸念される中で、公共事業等にも自然と開発との調和を図ることはもとより、自然に対して貢献していくような取り組みが求められています。

このため、自然にやさしい水辺空間の整備や計画的な森林整備など、自然環境の保全や復元を図る視座に立った公共事業等を推進します。

【主な事業】
うるおいのある快適な河川環境の整備
自然環境に配慮した砂防施設の整備
人と自然にやさしい森林環境の整備
緑の風景の創造

ITの利便性を実感できる社会の創出



10 IT環境充実プロジェクト
県民生活の利便性を確保するとともに、地域経済を支える産業の持続的な発展を促すためには、ハード・ソフト両面にわたるIT環境の整備を進めていくことが喫緊の課題です。

このため、高速・大容量の情報が受信できる情報ハイウェイの整備や地域間、世代間等の情報格差の解消に取り組むとともに、企業のIT活用を支援するインターネットデータセンターの整備検討などを進めます。

【主な事業】
情報ハイウェイの整備・開放
地域インターネットエクスチェンジの拡充
地域公共ネットワークの整備・充実
インターネットデータセンターの整備検討